



## 新型コロナ感染リスク、「職場に安心して行けない」47%、

## ドアノブからの感染懸念、女性や40代が高く

### 日経リサーチと日本経済社が共同で意識調査

2020年8月31日

株式会社日経リサーチ

株式会社日経リサーチ(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:福本敏彦)と日本経済社(本社:東京都中央区、代表取締役社長:富田賢)は8月中旬、新型コロナウイルスの感染リスクに関する共同意識調査を実施しました。調査は日経リサーチが10代から70代までの男女を対象にインターネットで実施し、男女ほぼ半々の1022人から回答を得て、うち629人はお勤めの方(会社員、公務員、自営、パート等を含む)でした。

お勤めの方のうち、「現在、職場に安心して出かけていますか」との質問に対し、「職場に安心して出かけられない」と答えたのは46.6%と、「安心して出かけている」(38.5%)を上回りました。「職場に出かけていない」(14.9%)を含めると、出勤に対して不安を持っている方が約6割にのぼることがわかりました。

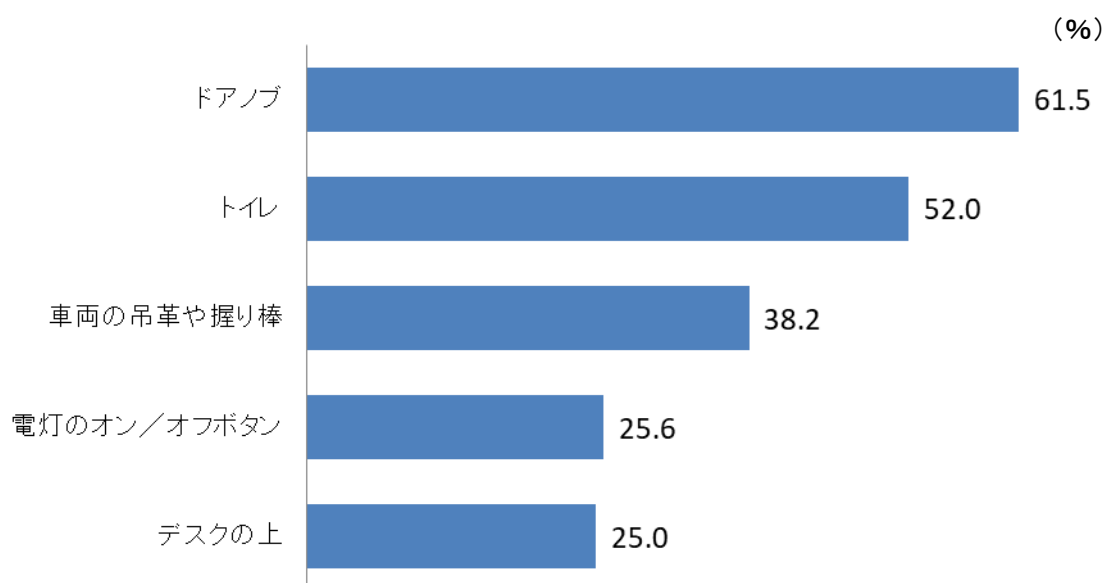
「安心して出かけられない」との回答は従業員千人以上の規模の企業などにお勤めの方では55.5%にのぼり、大規模な職場ほど不安感が大きいという結果がでました。

「安心して出かけられない」理由については(複数回答)、「職場で感染する心配がある」が68.6%と最も多く、「通勤の電車やバスで感染する心配がある」(60.1%)、「街中の人込みで感染する心配がある」(49.5%)が続きました。

職場が積極的な感染予防対策に取り組んでいるかについては、「積極的に取り組んでいる」「まあ取り組んでいる」をあわせて79.8%を占める一方、「あまり取り組んでいない」「まったく取り組んでいない」も20.2%。特に従業員百人未満の規模の企業にお勤めの方では、3割近くが取り組んでいないと答えました。

各人が職場内や通勤途上で感染に気をつけている個所(複数回答)としては、「ドアノブ」が61.5%と多く、「トイレ」がそれに続きました。「車両の吊り革や握り棒」、「電灯のオン・オフボタン」、「デスクの上」、「コピー機の操作画面」も多くの方が気を付ける対象として挙げました。

■ウイルスの付着に気を配る場所(上位 5 位)



男女別では女性の方が気をつけている比率が全般に高く、年齢別では年代があがるごとに比率もあがりましたが、その中で、40代はドアノブに気を付けている人が68.6%と全世代のうち最多となるなど、子育て時期にあたる世代が感染リスクに敏感になっている傾向もみられました。

■調査概要

【新型コロナウイルスについてのアンケート】

調査方法: インターネット調査

調査実施期間: 2020年8月11日~12日

調査対象者: 16歳から89歳の男女

回答者数: 1022人

■会社概要

株式会社 日経リサーチ

住所: 東京都千代田区内神田二丁目2番1号 鎌倉河岸ビル

代表者: 代表取締役社長 福本敏彦

事業内容: 顧客満足度(CS)調査や、ブランド調査、デジタルマーケティングなど各種市場調査を国内外で幅広く展開しています。また、定期的にも実施する世論調査や企業調査の結果は日本経済新聞などの媒体に多く掲載されています。

URL: <https://www.nikkei-r.co.jp/>